安全作業手順書【域内清掃C】

作成日・改正日	2025/4/1 （前回改正：2024/4/1）	現場名	東名高速道路（豊田IC～春日井IC） 名古屋第二環状自動車道 （名古屋IC～飛島北IC,有松IC～上社JCT）
機器工具・車両	ホウキ、ちりとり、てみ、ごみばさみ、 ダンプ車、ハンドスウィーパー	保護具	ゴム手袋、軍手、保護マスク、安全チョッキ 安全ぐつ、安全長ぐつ、ヘルメット

見積もり基準をした危険性の評価

重大性(B) / 可能性(A)	○　軽微（不休と休業３日以内）	△　重大（休業４日以上）	×　極めて重大（死亡・障害が残る）
○ ほとんど起こらない（５年に１回程度）	○○（極めて小さい）	○△（かなり小さい）	○×（中程度）
△ たまに起こる（１年に１回程度）	△○（かなり小さい）	△△（中程度）	△×（かなり大きい）
× かなり起こる（６ヶ月に１回程度）	×○（中程度）	×△（かなり大きい）	××（極めて重大）

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例

危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし（様子を見る）
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作業区分		作業手順・作業内容	急所	危険ポイント（～なので～になる）	ﾘｽｸの見積り (A)	(B)	ﾘｽｸ	安全対策（危険度２以下へ）（私達はどうする）	ﾘｽｸの再見積り (A)	(B)	ﾘｽｸ
準備工	作業確認	作業の打合せ(KY)を行なう	作業員全員で	手順を間違えて思わぬケガをする	△	×	4	全員で手順書、KYの内容を周知する	○	○	1
		作業員の役割（運転手、助手）を決める	免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って	免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう	○	×	3	乗車時に必ず免許区分明示車両ｽﾃｯｶｰを確認する	○	△	2
		作業場所及び車線を確認する	上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように	/	/	/	/	/	/	/	/
		交通規制状況を確認する	必ず当日の規制簿を使用して	/	/	/	/	/	/	/	/
		使用機械、工具等の点検を行う	作業前に	作業中に機械が故障し、思わぬケガをする	△	×	4	作業前に必ず道具、工具、機械類の点検を行う	○	○	1
		しらすんだーの動作確認及び点検を行う	朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする	電池切れて緊急時、逃げるのが遅れる	△	×	4	毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する	○	○	1
	車両確認	セーフティーバイブル	25.車両回送手順書に則る								
	作業車両準備										
	作業車両点検										
	出発準備										
本作業	出発										
	規制内進入										
	車両移動停止										
	逸走防止										
	使用機器等準備	車両から必要機材を降ろす	①手袋などを着用して ②手・指挟まれに気をつける。声かけ、合図をして	①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする	△	△	3	無理な搬出はせず、サイドカバー・タイヤ等安全な足場から車両に正対して昇降する。飛び降りない。	○	△	2
	作業箇所への移動	作業箇所まで移動する	ﾗﾝﾌﾟ横断時は十分に注意して	確認不十分で走行車両に接触する	△	×	4	誘導員を配置して移動する	○	△	2
	清掃作業	園地のごみ拾いを行う	ごみばさみ等、器具を使用して	素手でごみを拾い、ガラス片などで怪我をする	×	○	3	必ず手袋、軍手を着用し、ごみばさみ等器具を使用して拾集する	○	○	1
		拾集したごみを積載車両に積込む	安全な車両位置を確保して	積込み時、周囲確認を怠り走行車両に接触する	△	×	4	現場保安員は作業員の動きを注視し、必要に応じて作業員について監視を行う	○	△	2
	現場移動	現場移動する	積荷の飛散防止対策を必ず行い	シートを荷台にかけず、回送中に荷台の荷物が飛散・落下してしまう	△	△	3	シート及びﾈｯﾄを必ず使用して飛散防止の養生を行う	○	△	2
	（回送）	車両回送手順書に則る									
	片付け	車両に使用機器・道具等を積込む	運転者は飛散防止シートをかけ	シートを荷台にかけず、回送中に荷台の荷物が飛散・落下してしまう	△	△	3	シート及びﾈｯﾄを必ず使用して飛散防止の養生を行う	○	△	2
	（離脱準備）	路面等場内の確認をする	忘れ物、清掃漏れが無いか再度	出発前に確認を怠り、忘れ物等に気づかず離脱し走行車両と接触する	△	△	3	現場監督者を含め二人以上で必ず場内の確認をしてから離脱する	○	△	2
	現場離脱	25.車両回送手順書に則る									
	帰着										
	駐車										
	後処理	ごみを分別する	所定の位置で	素手で分別を行い、ガラス片などで怪我をする	×	○	3	必ず手袋、軍手を着用して分別する	○	○	1
		運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/	/	/	/
特記	不審物対応	不審物（ナンバープレート・注射器等）を発見した場合　（東名）	①発見した状況の写真を撮る　②メンテ（NHS)に一報を入れる　③10～15分安全を確保した上現場に待機する　④15分間指示が無い場合、離脱する（離脱することを一報入れる）　⑤不審物を安全な場所（路肩）に移動させて離脱する								
		不審物（ナンバープレート・注射器等）を発見した場合　（名二環）	①発見した状況の写真を撮る　②メンテ（NHS)に一報を入れる　③不審物を最寄の回収ボックスに移動させる　④離脱する（離脱することを一報入れる）								
	1人作業	原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地にてKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。									
	台車を使用する場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逸走による車両等への接触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逸走し走行車両と接触する	△	△	3	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から遠い位置に仮置き。強風の場合はウェイトを置く。	○	○	1